

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
業務・採用等説明会（2014年6月4日開催）

環境省

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回の「業務・採用等説明会」は、環境省の仕事の特徴や採用について、大臣官房秘書課（総務課併任）課長補佐（採用担当）の清家裕さんにお話を伺いました。



はじめに自己紹介があり、清家さんご自身が法科大学院出身ということで、経験を踏まえたアドバイスを交えたお話に親近感を感じながらの説明会となりました。清家さんは元々環境に興味があり、将来の職業として法曹を考えた時に環境問題を扱う弁護士という道も候補にあったそうです。しかし、実際の業務を想定してみると、国家公務員になった方が自分のやりたいことに取り組みると考え、在学中に今の道を選択したとのことでした。

続いて国家行政に関して説明がありました。その使命は、個人の権利義務や法律関係と離れて社会の在り方をデザインすること、法令を作り、税・予算・国際交渉といった行政特有のツールを活用することが挙げられました。



次に、採用試験について説明がありました。司法試験合格者は国家公務員試験の中の「大学院卒法務区分」で受験することになり、その他の法科大学院卒業生は基本的に「大学院卒行政区分」で受験することになります（制度上は大卒の各区分で受験することも可能）。合格後に官庁訪問が行われま

す。官庁訪問には、法務区分合格者のみを対象とする12月の官庁訪問と法務区分を含む全ての区分を対象とする6～7月の官庁訪問があります。国家公務員試験の合格者は各省庁の採用予定者数の2倍以上いるので、官庁訪問での面接によって各省庁が選抜を行い、採用が決まるとのことです。



環境省が取り組んでいるミッションについては、地球規模で進む環境の変化に対応して、未来に向かって持続可能な社会を実現することが重要であり、さらに東日本大震災からの復興にも取り組んでいることが紹介されました。

最後に質疑応答があり、アドバイスも含め答えていただきました。

面接官が見ているのは知識のあるなしではないこと等いくつかの重要なポイントをご紹介いただきました。また、面接を受ける際には、法曹ではなく、なぜ公務員になろうと思ったのかをしっかりとアピールすることが大切とのこと、自己分析を前提に将来をイメージすることの大切さを強調されました。なによりも清家さんが自分の希望に沿って着実に歩を進めていることが印象に残りました。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。